

キャリアデザイン

○キャリアデザインとは

例えば、**5年後**（自らの教職人生における10年目）の**目標**（身に付けたい力）を定め、それを**実現するための計画を立てる**こと

○キャリアデザインの必要性

5年後の目標を定め、キャリアデザインを描く。

モチベーションが高まり、仕事が充実し、やりがいを感じる。

自らの学ぶ姿勢も高まる。

**自分自身の資質能力が向上する。
児童生徒の成長につながる。**

○キャリアデザイン作成の流れ

キャリアの方向性を考える

これまでの教職経験を振り返り、自身の強みや弱みなどを基に方向性を明らかにする。

短期的なキャリアデザインを描く

「5年後の目標」と自分の現状とのギャップを埋めるため、1年ごとに計画を立てる。

5年後の目標を考える

身に付けたい力を考える。

○初任段階と中堅段階に期待される姿

「北海道における教員育成指標」（令和5年3月改訂 北海道教育委員会）

北海道における
教員育成指標



平成29年12月
(令和5年3月改訂)

北海道教育委員会



4 教員育成指標（スタンダード）

※「養成段階」→「養成段階」には、養成に該当する教員に対して任命要件の求める業務動作を掲載

求める教員像	教員育成指標（スタンダード）			
	養成段階*	初任段階	中堅段階	ベテラン段階
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人に愛情をもち、よき可能性がどこに立派な芽としてあるかを育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よき可能性・成長の余地などに目を向け、伸ばしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よき可能性・成長の余地などに目を向け、伸ばしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よき可能性・成長の余地などに目を向け、伸ばしている。
使命感や責任感・倫理観	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの育ちと学びに責任をもち、職業倫理に基き、誠実に遵守するとともに、時代に応じた教育・学習・課程の社会的役割・発展等を理解し、職務上の義務を果たしている。 			
総合的人間力	<ul style="list-style-type: none"> 社会体験を通じて、人間性、社会性、協調性を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高める。
教職に対する強い情熱・人権意識	<ul style="list-style-type: none"> 人権意識に基づき、地域のボランティア活動や児童・生徒の育成活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権意識に基づき、地域のボランティア活動や児童・生徒の育成活動において、全ての子どもを尊重しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への情熱を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、教職への情熱を有している。
主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 研修の目的や意義や、自身の業務を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修の目的や意義や、自身の業務を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の研修や、自己研鑽を通じて、業務の発展に資する。必要に応じて、必要となる資質能力を身に付けるために学び続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の研修や、自己研鑽を通じて、業務の発展に資する。必要に応じて、必要となる資質能力を身に付けるために学び続けようとしている。

3 キーとなる資質能力及び期待される具体的姿

【教職を担うに当たり必要となる資質に関連する観点】

教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	
教育的愛情 教育的愛情 使命感や責任感・倫理観 総合的人間力 教職に対する強い情熱・人権意識 主体的に学び続ける姿勢	・子ども一人一人の個性を尊重し、よき可能性・成長の余地などに目を向け、それを伸ばす ・子ども一人一人の育ちと責任をもち、時代に応じた教育・学習・課程の社会的役割及び教育公務員として遵守すべき使命等を理解し、職務上の義務を果たす ・社会体験や保護者、地域との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高める ・教職への情熱をもち、人権意識に基づき、教育活動において全ての子どもを尊重する ・研修の目的や意義や各種研修等を通じて、必要な資質能力を身に付けるために学び続けようとする

【教育又は保育の専門性に関連する観点】

教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	
専門的な知識・技能 授業力 専門的知識・技能 主体的・計画的で深い学びの実現に向けた学習指導	・教職の意義や教員の役割、教科等不履修内容に関する専門的知識・技能を身に付け、継続に努める ・学習指導要領等を踏まえ、子どもの心身の発達や学習過程について理解し、おろいを例として学習者中心の授業を構築する ・子どもの関心・意欲を引き出すための教材研究や協働した授業研究を行う ・「主体的・計画的で深い学びの実現に向けた授業改善」について理解し、授業づくりや実践・評価等を行う